

## 「寿生駒連絡協議会」(愛称：気らくネット)について

### 【1】「寿生駒連絡協議会」(気らくネット)の設立目的

生駒市いこま寿大学の学則第1条には、その設置目的として次の記載があります。

「変遷の激しい現代社会において、高齢者として時代の流れに対応出来る生き方(自立や社会参加)を求めるとともに、自立的かつ意欲的な生涯学習を通じて得られた学習成果を、豊かなまちづくりに活かし社会貢献できる人づくりを目的として大学を設置する。」

このいこま寿大学の原点とも言える設置目的を、具体化するための協議会であり、活動は既存の市民団体とのコラボレーションも視野に、広く生駒市民に関わりの深い公益事業を自主的に展開します。

### 【2】構成メンバー 寿大学現役生有志及び卒業生

既に卒業生で構成されているOB団体(にしき会・新寿会・寿クラブ)他

社会貢献、ボランティア活動に意欲のある一般市民

### 【3】「寿生駒連絡協議会」(気らくネット)の目指すところ

“健康寿命 NO.1 を目指して活動していこう”

～奈良県で NO.1 ⇒関西で NO.1 ⇒全国で NO.1 を目指して～

### 【4】具体的活動内容(案)

① ことぶき広場の園芸指導支援隊

(寿クラブ、寿大学社会貢献部会、園芸クラブとの連携)

② いこま寿大学スポーツ大会の審判員育成(新寿会との連携)

③ 学校のクーラー設置を機に、夏休み期間を利用した子どもたちの居場所づくり事業の展開

④ 学力向上を目指し、月1回程度の朝給食の提供(学校との連携)

⑤ 空き家見守隊(シルバー人材センターとの連携)

⑥ 生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」への参加等です。

それ以外にも、社会環境、状況に対応し「気らくネット」の中で自由に企画、立案するほか行政(教育・福祉・市民活動)や地域の地縁団体とも連携し、元気な高齢者がまちづくりに貢献できるように活動を行なっていきます。